

頼りになるいい弁護士 実力派



レンジャー五領田法律事務所



ごりようだ ありのぶ
代表弁護士 五領田 有信

埼玉弁護士会所属

慶應義塾大学法学部法律学科卒業。陸上自衛隊に入隊。第1師団レンジャー部隊にてレンジャー徽章を獲得。レンジャー五領田法律事務所を創設。

“隠れ”女系家族に注意

身近にある隠れ女系家族の恐怖 苛酷な現実から夫の権利を守る

祝福された結婚も義母への対応を見誤ると夫婦関係そのものに亀裂が入ることになる。それが「隠れ女系家族」との婚姻だった場合、さらなる悲劇を味わうことになるかもしれない。新しいタイプの離婚問題として、その実態を五領田有信弁護士が語る。

「我が国には表面的な当主は男性であっても、実質的な権限を女性が牛耳る『隠れ女系家族』なるものが存在します。こういった家族で育った女性との結婚がうまくいかず、理不尽な離婚紛争に巻き込まれる男性が急増中です」と、近年の離婚問題に新たなケースが生じていると語る五領田有信弁護士。

母親にエスコートされる女性には「毛並み」の良さを感じる

「我が国には表面的な当主は男性であっても、実質的な権限を女性が牛耳る『隠れ女系家族』なるものが存在します。こういった家族で育った女性との結婚がうまくいかず、理不尽な離婚紛争に巻き込まれる男性が急増中です」と、近年の離婚問題に新たなケースが生じていると語る五領田有信弁護士。

孫の誕生で男は用無しに

「家庭を切り盛りしながら娘をかわいがって来た母親にとり、結婚で娘が手元を離れることは寂しいことであり、疎外感すら覚えるようになりま

す。そして隠れ女系家族の母親はこの状況を作ったのは娘の夫であると思いがち。しかもそれは自分に対する敬意の欠如でもあると考え、その存在を疎ましく思いはじめめるのです」

「隠れ女系家族」の母親は娘の夫を婿同然と考える傾向にある。つまり婿なりの配慮が求められるのだが、そのことに大抵の男性は気付くことができない。

母親による「娘の夫はずし」は孫の誕生をきっかけにしてはじまるといふ。『隠れ女系家族』は社会的地位が高く経済的にも恵まれていることが多い。娘の夫がいなくなっても全く不自由することはない。家を継ぐ孫も生まれた。つまりは娘の夫は「用無し」となったのだ。

暗躍する義母が妻連れ去る

「娘は母親を信頼し切っているため、夫より母親の意見を優先します。やがて夫婦の気持ちは離れ、関係も悪化。そうなる暗躍していた母親が前面に出て来て、夫の排除を始め、行き着くところ、妻の連れ去り事案となります」

「一人ですみずいづつでもご相談ください。夜中でも構いません」と五領田弁護士は呼びかける。

「こうなるとパニックに陥り、個人で対処するのは難しくなります。代理人を立て、被害を最小限にすることに努めなければなりません」

LAW FIRM PROFILE

レンジャー五領田法律事務所

所在地 〒336-0022
埼玉県さいたま市南区
白幡4-23-11 SDAビル2F・3F

電話 0120-015-482

URL <http://ranger-lawfirm.com/>
【男の離婚】 <http://otokonorikon.com/>

